

広葉樹材の新たな利用を考えるワークショップ

～その発想が森に価値を生む～

立木を木材として利用するために伐採収穫するときに、利用されないで現地に放置されるものがあります。これらは、一般的に「林地残材」と呼ばれ、伐採時に発生する受け口や、細い幹や枝葉、曲がり材などを指します。

この林地残材を利用できるものに変えることができれば、捨てられていた森林資源に新たな価値を与えることになり新たな森林業につながる可能性を秘めています。

この企画は、広葉樹林の伐採収穫現場に出向き、自由な発想で残材を拾い集め製品化の企画を構想し、試作品を作るという試みです。

「林地残材」から「暮らしに活かす資源」への転換に挑戦しませんか。

1. 開催日 令和6年11月10日（日）10時～16時30分

2. 場所 飯豊町中津川の広葉樹林（材料収集）及び源流の森（企画・製作）

3. 日程

10:00 飯豊町白川荘集合 開会 オリエンテーション

10:45 現地着 広葉樹林、製品開発のヒント等の説明

13:00 昼食・休憩（白川荘）

13:45 構想・考案・試作（以後、源流の森）

15:45 結果発表

16:30 閉会

4. 募集人数 20名程度



主催 広葉樹を暮らしに活かす山形の会

共催 一般社団法人 山形県林業コンサルタント

後援 公益財団法人 やまがた森林と緑の推進機構、山形県木材産業協同組合、

山形県広葉樹利用拡大協議会

問合せ先 広葉樹を暮らしに活かす山形の会 事務局 佐藤恒治 090-9031-3713

広葉樹材の新たな利用を考えるワークショップ

参加申込書

所属	職名	氏名	連絡先電話番号	備考

※ 参加料（昼食代等）¥1,000 を当日申し受けます。

送付先

国土防災技術(株)山形支店 佐藤恒治

FAX 023-646-2711 e-mail k-sato@jce.co.jp

添書不要です。このままご送付ください。

